作成日：2025 年　4 月 12 日

研究協力のお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

空間トランスクリプトーム解析を用いた粘表皮癌の癌幹細胞・細胞分化・悪性度の検討
１．研究の対象および研究対象期間 昭和医科大学藤が丘病院および昭和医科大学病院で採取され、同院臨床病理診断科において 2015 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日に病理組織診断が実施された粘表皮癌の患者さん
２．研究目的・方法 粘表皮癌は、唾液腺がんの中で最も頻度が高く、単一の病変の中で多彩な像を呈し、悪性度が異なることが知られています。しかしながら、顕微鏡で見た際に唾液腺や皮膚に類似した分化がみられず「癌幹細胞」と考えられている細胞が、遺伝子発現のレベルで癌幹細胞であるのか、細胞の増殖する能力などが高いのかといった報告はまだありません。 本研究は粘表皮癌の組織像と、各細胞における遺伝子の発現（どの遺伝子が多く使われているか調べるもので、遺伝子変異を直接調べるものではありません）との連関について空間トランスクリプトーム解析を用いて検討し、粘表皮癌の癌幹細胞の同定と、悪性度との関連、唾液腺細胞の分化のメカニズムについて検討します。さらに免疫染色（各細胞の特定のタンパク質を染める染色法）を用いて病理診断への応用を目指します。
３．研究期間 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから　2030 年　3 月　31 日まで
４．研究に用いる試料・情報の種類 病理検体（病理組織ガラス標本、病理組織ホルマリン固定パラフィン包埋ブロック、病理組織凍結標本、病理組織ホルマリン固定標本、細胞診ガラス標本、細胞診液状検体、捺印細胞診検体） 病理診断に付随する資料（病理検査申込書、病理検査報告書、細胞診検査報告書、検体肉眼画像、検体組織画像） 臨床情報（性別・年齢、原疾患、検査の目的）
５．外部への試料・情報の提供 本研究は昭和医科大学の複数施設にて実施されますが、本研究で取得した診療情報は研究責任者および分担者が個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等の個人を識別できる情報を削除し、研究用

のＩＤを付与することで符号化します。符号化した診療情報は昭和医科大学藤が丘病院、昭和医科大学病院の外部から切り離されたコンピューター内および USB メモリにパスワードを設定して保存されます。データの保存媒体である USB メモリにもパスワードを設定し、セキュリティの高いレターパックプラス（赤）を用いて、昭和医科大学病院から昭和医科大学藤が丘病院に郵送します。

６．研究組織

研究責任者	昭和医科大学藤が丘病院	臨床病理診断科	助教　和田 あかね
研究分担者	昭和医科大学藤が丘病院	臨床病理診断科	准教授　小川　高史
	昭和医科大学藤が丘病院	臨床病理診断科	助教　上田　康雄
	昭和医科大学藤が丘病院	臨床病理診断科	特任教授　楯　玄秀
	昭和医科大学藤が丘病院	耳鼻咽喉科	教授　小林 斉
	昭和医科大学	医学部耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座	教授　嶋根 俊和
	昭和医科大学	歯学部口腔病態診断科学講座口腔病理学部門	教授　美島　健二
	昭和医科大学	医学部臨床病理診断学講座	教授　矢持　淑子

組織標本の作成や免疫染色の実施（業務委託）：株式会社 BML

７．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学藤が丘病院　臨床病理診断科　　氏名：和田　あかね

住所：神奈川県横浜市青葉区藤が丘 1-30　　電話番号：045-971-1151